

大分市立津留小学校 学力向上プラン1 (8月)

	学力状況について	学習状況について
児童生徒の課題	1 各種学力調査の分析結果から明らかになった課題 ・理由等を記述して説明することを苦手としている。 ・国語では、「書くこと」の領域の正答率が低い。 2 授業改善の検証指標に照らし合わせて評価した状況 ・授業で「わかった」「できた」と感じる児童は93%。 ・「授業で自分の考えが持てた」と回答した児童は89%。	1 各種学力調査の分析結果から明らかになった課題 ・授業の予習、復習への取り組みが低い。 ・わからない言葉を辞書で調べていると回答した児童の割合が低い。
指導の状況	1 組織的な授業改善の取組状況 ・課題、児童の発言、まとめを位置付けるなどして板書の構造化を目指してきた。 ・互いの考えを伝え合う場を授業の中に位置付けてきた。 2 その他の学力向上に向けた指導の取組状況 ・学習規律の徹底をはかってきたが、全教職員による継続的な取り組みが必要。 ・週末読書の取組の推進。 ・低学力層の児童の個別指導の継続。	



学力に関する達成指標	○単元テストの学期末平均正答率が各教科とも70%以上の児童を90%以上にする。
------------	-----------------------------------------



	【授業改善】	【家庭・地域との協働】
今後の具体的な取組	(授業改善テーマ)一人ひとりが考えをもってともに学び合える授業 (授業改善の重点)一人ひとりに自分の考えを持たせる手立てや互いの考えを伝え合う場の工夫	(達成指標)※必要があれば
	(取組内容) 一人ひとりが自分の考えを持てるような手立てを工夫する。	(取組内容) 互いの考えを伝え合う場を工夫する。
	(取組指標) ・週に1回以上、ICT機器や視覚的教具を活用した授業実践をする。 ・ぐんぐんタイムにおいて、月2回以上書く活動を取り入れる。	(家庭・地域の取組内容) 家庭学習で、学習内容の定着を図る。
	(取組指標) 毎日1度は「自分の考えを書き表す場」と「互いの考えを伝え合う場」を授業の中に取り入れる。	(家庭・地域の取組指標) 毎日、家庭学習のノートやプリントで定着状況を確認し、定着していない児童に個別指導をする。
	【その他の学力向上の取組】 ○補充学習の時間を設け、下位層の児童に個別学習を行う。 ○毎月1回は、レベルアップ講座を開催し、職員同士で互いの技量を高め合う。 ○毎学期1回以上ABC週間を設定し、学習規律(A:合図、B:準備、C:姿勢)の習慣化を図る。 ○子どもの学習状況に合わせて、習熟度別に学習できる場をつくる。	